

令和8年度

「運営に関する計画」

たくましく希望に満ちた学校をめざして
～ 夢 きずな 輝き ～



大阪市立西天満小学校

令和8年4月

大阪市立西天満小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

Ⅰ 学校運営の中期目標

本校の現状と特色ある取組

本校は、明治5年(1872年)に創立され、今年度で創立154年を迎える。「子どもは地域の宝物」とあるという地域の熱い思いと労を惜しまない支援・協力が本校教育に注がれ、歴史と伝統を積み重ねて今日に至っている。

本校では、学校教育目標に「心身ともにたくましく伸びる子どもを育てる」を掲げ、「考える子」「やさしい子」「がんばる子」の育成をめざしている。

ここ数年で児童数が急増し、今年度の在籍児童数は292名。すべての学年が2学級となって5年目である。いろいろな背景をもった子どもが増えてきたが、教職員数も増え、学級担任だけでなく専科教員やサポーターなど多くのスタッフが子どもたちに関わりながら、子どもたち一人一人を大切にしている教育活動を進めている。

子どもたちの全体的な特徴は、力を入れて指導すればそれに応えて大きな力を発揮できる子が多いこと、また、素直に一生懸命がんばることができる子が多いことだと認識している。家庭での教育力の高さも、その要因の一つとなっていると考えている。

本校の特色ある主な取組を以下に紹介する。

(1) 地域の人々と結びついた教育活動を進めている。

地域の人々と児童との出会いを大切に、教育活動での結びつきを深めている。自分たちの住んでいる地域のことを知り、地域を愛し、誇りに思う資質を備えた児童を育てるような様々な取組を進めている。創立150周年を機に、これまで国語科で培ってきた読解力や表現力、各教科領域で身に付けた問題解決能力を総動員して、自分たちの住んでいる町の歴史や文化等について探求し、表現できる力を育ててきた。今後も自分の学校や町に誇りをもち、地域や社会の発展に寄与する態度や社会の平和を願う心を育てられるよう、生活科や総合的な学習の時間を中心に継続して学習活動を進めていきたいと考えている。

(2) 日記「たくましくのびていこう」を通して、表現力を育てている。

全校児童が毎日日記を書き、可能な限り担任がコメントを記したり、サインをしたりして、その日のうちに返却している。1日1ページ、月に1冊のペースで年間12冊、6年間で72冊の日記帳を書くことになる。これは、今年度で61年目を数える全国にも例のない実践である。卒業生の中には、72冊の日記帳を「心のアルバム」として今も大切に保管している方がおられたり、親子二代にわたって日記に取り組んだという家庭もあつたりする。この実践は児童の書く力を確実に育て、言語活動の充実につながっている。さらには、児童の生活実態や友人関係などを知る手掛かりとなり、いじめの防止等の生活指導にも活かされている。

(3) たてわり活動を通して互いに思いやり、認め合う集団を育てている。

春の全校遠足や年間を通じた集会活動等で縦割りの活動を充実させ、上級生が下級生を導き、助け合い、協力し合うことで学年を越えたつながりが育ち、互いに思いやる気持ちが育っている。

(4) 我が国の伝統文化を大切にしたい教育活動を進めている。

我が国の伝統文化を学ぶことにより、我が国のよさを知るとともに、国際社会で生きる資質につなげるため、琴・和太鼓・書等に取り組んでいる。

また、地域には教育資源が豊富にあり、大阪天満宮、堀川戎神社、中央公会堂、こども本の森、天神橋筋商店街など、全国的に有名な文化財等が多数存在する。地域の学習を通して、地域を愛し、地域を担う人材を育成することにも力を注いでいる。

(5) 漢字能力の向上に努めている

児童の漢字に対する興味関心を高め、漢字能力の向上に努めるため、全校で漢字検定に取り組んでいる。各自の能力に応じた級を受検することとし、全児童が合格をめざして意欲的に漢字を学習している。これまでに、漢字検定協会より「優秀団体賞」を9度受賞している。

(6) 「あいさつ」を通じて明るく元気な学校づくりに努めている。

あいさつは仲良くなるための第一歩であり、人を大切にする気持ちや感謝の気持ち、コミュニケーションの基本、心身の健康、明るい学校づくりなど、大切な要素が多く含まれている。人と人とのつながりが希薄になりがちな現代社会でこそ、児童に身に付けさせたい大切な習慣であり、財産になるものとする。児童と教職員との共通の目標とし、児童会による「あいさつ運動」などの自発的な活動を通して全教職員で指導を進めている。

本校の課題

(1) 望ましい人間関係の構築

相手の気持ちを考えずに発言してしまったり、自分本位に行動してしまったりする児童が、少数ではあるが見られる。学校という集団生活を営む場において、望ましい人間関係を構築するために大切なことは何かということ、しっかりと捉えさせていく必要がある。

(2) 不登校・不登校傾向の解消

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学校休業明けから、登校しにくい児童が見られるようになった。学級担任からさまざまに働きかけたり、カウンセリングを受けたり、関係機関に相談したりしているが、解決が難しい事案もある。

(3) 学力における二極化の解消

全国学力・学習状況調査や大阪市小学校学力経年調査、大阪府すくすくウォッチなど、平均点だけを見ると大変良い結果が出ているが、細かく分析してみると、どの学年にも市の平均点に届かない児童が見られる。

(4) ICT を活用した教育のさらなる推進

新型コロナウイルス感染症の影響で GIGA スクール構想が前倒しとなり、この6年間で ICT 教育環境が激変した。全学年において、デジタルドリルの活用を行うようになるとともに、児童の発達段階に応じて、Teams や多肢選択問題を用いた学習ゲームシステムを活用した協働的な学習にも取り組んでいる。ICT 教育環境が整うことは学校現場としても大変ありがたいことであるが、1人1台 PC にアンケート機能や相談機能等の様々な機能が加わり、教員と児童が全ての機能を使いこなしていくためには、工夫を凝らした取組を進めていかなければならない。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語のボリュームゾーンにあたる層の変化率を 3ポイント向上させる。 ※小3時点でのボリュームゾーンにあたる層の小6時点での変化率
- 小学校学力経年調査における、算数のボリュームゾーンにあたる層の変化率を 3ポイント向上させる。 ※小3時点でのボリュームゾーンにあたる層の小6時点での変化率
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 95%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 95%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 95%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を 95%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 91%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 95%以上にする。
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を 月 20 時間以下とする。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 94%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- 小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79%以上にする。(R7:78.1%)
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
- 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。(R8~)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント上昇させる。
- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント上昇させる。
- 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合で90%以上を維持する。(R7:93%)
- 小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。(R8~)
- 小学校学力経年調査における「規則正しい生活(「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」)が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合で90%以上を維持する。(R7:92.4%)
- 小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合で90%以上を維持する。(R7:91.7%)

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合で90%以上を維持する。(R7:91.2%)
- 小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。(R7:87.3%)
- 小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合で90%以上を維持する。(R7:95.1%)
- 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月 30 時間以下とする。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合で90%以上を維持する。(R7:90.9%)

大阪市立西天満小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート①）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標Ⅰ 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>79%以上にする</u>。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の<u>改善の割合を増加させる</u>。</p> <p>○小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>80%以上にする</u>。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向Ⅰ 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめのアンケート調査を定期的実施し、当該児童からの訴えを的確に聞き取り、事後指導により解決できるようにする。また、いじめが発生したときは、「学校いじめ防止基本方針」に則り組織的に対応する。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> いじめのアンケートを<u>年3回</u>（学期に1度）実施、記録し、事後指導を行う。 年度当初に「学校いじめ防止基本方針」について、教職員内で共通理解を図る。 学級に「生活のきまり」「学校安心ルール」を掲示し、常に意識できるようにする。きまりを守りにくい児童には、一人一人に合わせた継続的な指導を行う。 	
<p>取組内容②【基本的な方向Ⅰ 安全・安心な教育環境の実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校児童や不登校傾向にある児童について教職員で共通理解し、区役所、SSW、SCなどとの連携を図り、問題事象の解決を図る。 <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の<u>改善の割合を増加させる</u>。 毎月、児童理解研修会を行い、不登校児童についての情報を共有する。 	

<p>取組内容③【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育活動全体を通じて、人権尊重の意識を高め、自他の生命と尊厳を互いに尊重し合う態度を育てる。 ・ 学級活動や児童会活動等において、自己肯定感や自己有用感を高められるよう、児童の主体性を重視した取組や受容的な環境づくりに努める。 ・ 児童朝会や日々の指導を通して、「自ら進んであいさつをする」という意識を高める。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>80%以上に</u>する。 ・ はぐくみ隊やPTA代表の方を児童に紹介し、地域の方にも積極的にあいさつができるように促す。 ・ 各学級において、目的意識をもって「あいさつ」に関する取組を進める。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立西天満小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート②）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>○小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント上昇させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント上昇させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合で<u>90%以上を維持する</u>。</p> <p>○小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>70%以上に</u>する。</p> <p>○小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合で<u>90%以上を維持する</u>。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む) やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合で<u>90%以上を維持する</u>。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 協働的な学びと個別最適な学びを一体的に充実させ、学習状況の把握と即時的な授業改善を図り、中間層をはじめとする全児童の学力の伸長に取り組む。 ・ 教員全体で校内研究のねらいを共有し主体的に参画することで、すべての児童に資する質の高い学校教育を創造する。 	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における、国語の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント上昇させる。 ・ 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント上昇させる。 	
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日記「たくましくのびていこう」の取組を通じて、豊かな表現力を身に付けることができるようにする。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日記「たくましくのびていこう」を毎日継続して意欲的に取り組めるよう日々指導する。年度当初に、書き方やページ活用の仕方について説明するとともに、言語能力やメタ認知能力などの力を身に付けられるということを、児童が理解できるように指導する。(1カ月で1冊、年間12冊、6年間で72冊) 	
<p>取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全児童が日本漢字能力検定を受験する。 ・ 新出漢字の学習では、漢字の意味や使い方が理解できるように計画的に指導する。 ・ 国語以外の様々な活動場面において、児童が日常的に漢字に触れる環境を整える。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該学年級を受験する児童において、合格率を<u>90%以上にする</u>。 	
<p>取組内容④【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分たちが住んでいる町について「好奇心」をもって探求し、表現(説明)ができる児童を育てる。 ・ 自分たちが住む町や市に誇りをもち、地域や社会の発展に寄与する態度を育てる。 ・ 生活科や総合的な学習の時間において、系統性を確保した計画を立て、質の高い探求的な学びを推進できるようにする。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学力経年調査における「総合的な学習の時間や各教科等において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>70%以上にする</u>。 ・ 学校アンケート「西天満小学校や自分の住んでいる地域が好きですか」の肯定的回答<u>90%以上を維持する</u>。 	

<p>取組内容⑤【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の健康や身近な人の健康に気を配り、よりよい生活習慣を心がけ、自身の健康を管理する能力を形成する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自身の生活習慣を振り返る取組を年3回以上実施する。 ・ 養護教諭、栄養教諭を中心に、健康教育、食育を推進し、各学級での授業を実施する。 ・ 毎月、保健だより、給食だよりを発行し、学校 HP へ掲載する。 	
<p>取組内容⑥【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的に運動する習慣を身に付け、基礎的な体力を養い、体力向上に向けた取組を学校全体および各学級において推進する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なわとびチャレンジ、かけ足チャレンジなどの取組を計画的に実施する。 ・ 児童が主体的に運動に参加できるよう、年間を通した取組を実施する。 ・ 学校アンケート「自分で運動目標を設定し、達成に向けて取り組むことができた」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立西天満小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート③）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>○小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合で<u>90%以上を維持する</u>。</p> <p>○小学校学力経年調査における「学習者用端末を活用して、自分の考えや意見を伝えたり、友だちと共有したり比べたりしていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を<u>88%以上にする</u>。</p> <p>○小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合で<u>90%以上を維持する</u>。</p> <p>○教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を<u>月30時間以下とする</u>。</p> <p>○小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合で<u>90%以上を維持する</u>。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタルドリル「navima」について、各学年の実態、学習状況等に応じて、各授業担当者（学級担任、専科教員等）がデジタルドリルの内容を把握して、取り組む課題を精査し、効果的に活用する。 各学年において習得させたい情報活用能力を、系統性を確保した指導計画を立て、各教科の学習において実施する。 宿題や連絡帳など、授業以外の場面で端末利用を推進し、文房具同様に身近なものとして扱う意識を高める。 情報を正しく安全に利用できるようにするために、全学年において情報モラル、情報リテラシー教育を行う。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合で<u>90%以上を維持する</u>。 	

<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 専科指導を充実させることで、余白の時間を創出し、児童とかかわる時間や教材研究の時間の確保に努める。 ・ 学校運営にかかわる業務の効率化など、校務における様々な場面での ICT 活用や生成 AI 等先端技術の活用促進を図る。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゆとりの日を年間15回以上確実に実施するとともに、年次有給休暇を12日以上取得する教職員の割合を80%以上にする。 ・ 時間外勤務時間について、月60時間以上実施する教員をゼロにする。 	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学級活動や委員会活動等において、図書活用のよさを実感できる取組を学年の実態に合わせて行う。 ・ 学校司書、PTA、地域と連携し読書環境の充実を図るとともに、読書活動を通して読解力を育むことにも留意し教育活動を推進する。 	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 週3回、朝の時間に読書タイムを設け、読書習慣が身につけられるようにする。 ・ 学級、学年の実態に合わせて読書活動が進められるよう、必要に応じて学級文庫の入替えを行ったり、クラス貸し出しを行ったりする。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	